

伊治公皆麻呂の乱

紀古佐美軍の敗退

坂上田村麿連軍の苦戦

そのエミシ赤き甕を持ちて

水陸万頃の地に降りたつべし

蝦夷の赤い甕

えみい

「最強の蝦夷は和賀川にいた！」

令和2年
11月1日(日)
令和3年
~3月7日(日)

*特別展関連イベントは北市の公式ホームページ「博物館」に掲載中



*開館時間 午前9時から午後5時まで(最終入館は午後4時30分)
*観覧料金 一般500円 高校生240円 小中学生170円
*共通割引券や減免基準などはホームページをご確認ください
*会期中の休館日 12月~翌年3月までの、
・毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
・国民の祝日の翌日（この日が土曜、日曜および前後の休日の場合はその翌日）
・年末年始（12月28日~1月4日）
*ホームページアドレス
https://www.city.kitakami.iwate.jp/life/kurashi_tetsuduki/bunka_sports/bunkashisetsu/3/index.html



北上市立博物館

〒024-0043 岩手県北上市立花14地割56番地
電話 0197-64-1756 FAX 0197-64-1860



北上市立博物館

〒024-0043 岩手県北上市立花14地割56番地
電話 0197-64-1756 FAX 0197-64-1860

風雲急を告げる北上盆地

1200年前、日本を搖るがす大きな

戦いがあった。

その戦いは、北の民で蝦夷と呼ばれた人々と京(平城京、平安京)の政権との間でおこった。蝦夷は破れ、蝦夷の世界は崩壊した。

いま考古学の成果が その常識を破る!?

謎を解くカギ

『赤彩球洞甕』に刮目せよ!!

総力をあげて北への侵出を図る京の軍勢に、蝦夷たちは団結した。従来の常識では、胆沢川周辺の蝦夷集団が中心となって戦ったとされてきたが、実は和賀川を絶対防衛線として大軍を迎撃つ蝦夷集団の姿があったのだ。

蝦夷連合軍のよりどころとなったもの、

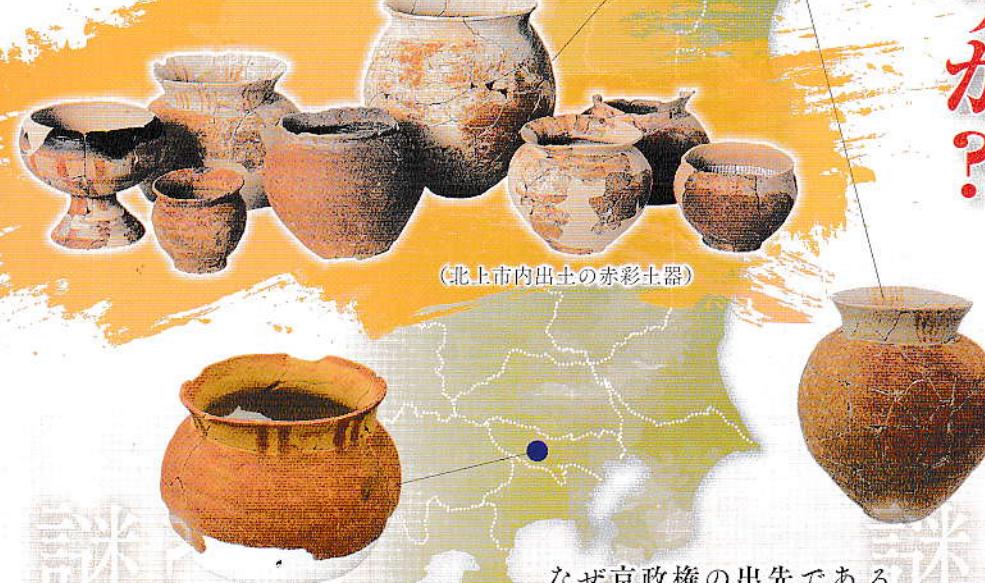
それが赤彩球洞甕なのである!

- 50 個体以上
- 10 個体以上
- 2 個体以上
- 1 個



なぜ馬淵川流域は
少ないのか
(一戸町大平遺跡)

なぜ和賀川流域に
圧倒的な量、出土するのか



なぜ東京から出土したのか
(多摩市上原遺跡)

なぜ京政権の出先である
伊治城周辺で多く出土するのか
(栗原市糠塚遺跡)

北は青森から南は東京まで
蝦夷の赤彩土器『赤彩球洞甕』が大集合!!

でも本当にそうだつたのでしょうか?!

赤彩球洞甕とは



戦いが最も激しかった頃、北上市を流れる和賀川に大きな村が次々現れ、そこでたくさんの赤く塗られた土器が使われてました。その土器は、口の部分に不思議な赤線の文様、胴体を真っ赤に塗りつぶしていました。